

令和7年9月12日

件名 令和7年度 高崎市美術館 企画展「福沢一郎の旅行カバン―画家とゆく世界の旅」

- 1 趣旨 別紙要項のとおり
- 2 会期 令和7(2025)年10月18日(土)～12月21日(日)
- 3 主催・会場 高崎市美術館
- 4 開館時間 午前10時～午後6時、金曜日のみ午前10時～午後8時
(入館はいずれも閉館の30分前まで)
- 5 休館日 毎週月曜日(11月3日・24日は開館)および11月4日(火)・25日(火)
【会期中の休館日：10月20日(月)・27日(月)、
11月4日(火)・10日(月)・17日(月)・25日(火)、
12月1日(月)・8日(月)・15日(月)】
- 6 観覧料 一般600(500)円 大学・高校生300(250)円
*()内は20名以上の団体割引料金
*インターネット割引券をご提示で2名様まで()内の料金でご覧いただけます。
*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方1名は無料でご覧いただけます。
受付で手帳または障害者手帳アプリ「ミライロID」をご提示ください。
*65歳以上の方は無料でご覧いただけます。年齢の証明ができるもの(マイナンバーカード、運転免許証、保険証等)を受付でご提示ください。
*大学・高校生は大高生料金でご覧いただけます。学生証を受付でご提示ください。
*中学生以下は無料でご覧いただけます。

【本件に関する問い合わせ】

総務部 文化課 高崎市美術館

電話:027-324-6125

福沢一郎の旅行カバン—画家とゆく世界の旅 出品リスト

2025年10月18日(土)ー12月21日(日) 高崎市美術館

No.	作品・資料名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵
【0 プロローグ 福沢一郎と旅】					
1	旅行鞆、帽子、上着、ステッキ、カメラなど				富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館ほか
2	陽なたの観衆	1978	アクリル・キャンバス	181.8×227.3	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション
【1 ギリシャとスペイン 湧き上がる生命】					
3	牧神とニンフ	1970	アクリル・キャンバス	227.3×181.8	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション
4	ヘラクレスと牛	1970	アクリル・キャンバス	181.8×227.3	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション
5	踊る	1992	アクリル・キャンバス	72.7×60.6	
6	闘牛	1978	アクリル・キャンバス	185.0×230.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
7	闘牛	1978	アクリル・キャンバス	53.0×45.5	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション
8	闘牛	1978	アクリル・キャンバス	31.8×41.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション
【2 オセアニアへ 未知の「未開」への旅】					
9	オーストラリアの砂漠にて	1967	アクリル・キャンバス	41.0×31.8	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション
10	裸婦と亀	1968	アクリル・キャンバス	91.0×72.7	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション
11	素描 オーストラリア(2)	1967年頃	鉛筆、インク、油彩・紙	41.8×29.8	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
12	オーストラリア 石と人と	1982	木炭、水彩・紙	30.3×43.4	
13	(オーストラリア旅行の際の写真2点)	1970	発色現像方式印画	25.0×29.8	
【3 ニューヨーク・ハーレムの喧騒 公民権運動の1960年代】					
14	SLUM LORDS RICH ON OUR MISERY	1965	アクリル・キャンバス	130.3×90.7	群馬県立近代美術館
15	ブラカードを持つ女	1965	アクリル・キャンバス	131.5×103.7	群馬県立近代美術館
16	デモ	1965	アクリル・キャンバス	131.5×103.7	群馬県立近代美術館
17	投票	1965	アクリル・キャンバス	131.5×103.7	群馬県立近代美術館
18	ハーレム	1965	アクリル・キャンバス	131.5×103.7	群馬県立近代美術館
19	(ニューヨーク滞在中の写真6点)	1965	ゼラチン・シルバープリント		富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
20	ハドソン河岸	1965	油彩・キャンバス	52.0×41.5	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
【4 壁とアンフォルメル 反響するひとの叫び】					
21	黒い幻想	1959	油彩・キャンバス	116.7×91.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
22	(1958年欧州旅行の際の写真8点)	1958	ゼラチン・シルバープリント	25.2×30.1	
23	創成	1959	油彩・キャンバス	97.0×130.3	群馬県立近代美術館
24	はげ鷹	1959	油彩、木等・キャンバス	40.9×31.8	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
25	網にかかった人	1959	石膏、砂、着彩・板	91.0×116.5	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
【5 中南米 輝く生命】					
26	ハンモックによる女	1954	油彩・キャンバス	97.0×130.3	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション
27	水瓜を持つ男	1955	油彩・キャンバス	130.3×97.0	群馬県立近代美術館
28	森の人間達	1955	油彩・キャンバス	130.3×97.0	群馬県立近代美術館
29	メキシコの女	1956	油彩・キャンバス	53.3×45.8	高崎市美術館
30	アマゾン	1954年頃	水彩・紙	43.4×30.6	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
31	メキシコの母子	1954	インク、水彩・紙	34.0×30.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
32	(中南米旅行時の写真30-40枚画像データ)	1953-54			
【6 秩父をあるく 戦時下・地学へのアプローチ】					
33	不詳(秩父風景)	1944	油彩・キャンバス	65.5×58.0	眺麓庵 江原幸太郎
34	秩父窮谷	1944年頃	油彩・キャンバス	27.0×21.5	
35	(秩父でのスケッチブック3冊、スケッチ)	1943年頃	鉛筆、水彩・紙		
36	書籍『秩父山塊』	1944			
【7 若き日のフランス・パリ 青春のあしあと】					
37	人間嫌い	1928	油彩・キャンバス	71.2×51.9	群馬県立近代美術館
38	タイヤのある風景	1929	油彩・キャンバス	33.5×45.5	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
39	パリ時代の写真複製パネル(10-16点)	1924-27(原作)			
40	サンマロー駅	1929	油彩・キャンバス	80.3×60.6	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
41	骨董店	1929	油彩・キャンバス	163.0×114.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
42	蝶(習作)	1930	油彩・キャンバス	30.0×60.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
43	パリ時代のアルバム(3冊)	1924			
44	パリ時代のスケッチブック	1924	水彩、鉛筆・紙		富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
【8 福沢一郎の「ディスカバー・ジャパン」—九州の旅と《卑弥呼》／東北・北海道の旅】					
45	(九州旅行時の写真4点)	1960年代	ゼラチン・シルバープリント		富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
46	踊る卑弥呼	1983	リトグラフ・紙	67.0×55.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
47	鮫	1950	油彩・キャンバス	81.8×114.8	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
48	花	1951	油彩・キャンバス	41.0×53.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
49	象潟	1951	油彩・キャンバス	45.5×53.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション
50	かまくら	1951	油彩・キャンバス	31.8×41.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション
【9 エピローグ 故郷(ホーム)をえがく 群馬の風景】					
51	作品名不詳	1946年頃	油彩・キャンバス	100.6×73.5	群馬県立近代美術館
52	「新人国記」挿絵 上州路と浅間山	1960年代	インク、墨・紙	19.7×27.3	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
53	「新人国記」挿絵 白根山	1960年代	インク、墨・紙	19.1×24.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
54	「新人国記」挿絵 大利根	1960年代	インク、墨・紙	17.1×24.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
55	「新人国記」挿絵 馬庭念流道場	1960年代	インク、墨・紙	17.2×24.3	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
56	「新人国記」挿絵 上州の山村	1960年代	インク、墨・紙	19.6×27.2	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
57	「新人国記」挿絵 きりこみ	1960年代	インク、墨・紙	19.8×27.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
58	「新人国記」挿絵 太々神楽	1960年代	インク、墨・紙	25.1×16.3	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
59	「新人国記」挿絵 温泉	1960年代	インク、墨・紙	19.8×15.5	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
60	「新人国記」挿絵 はるな湖	1960年代	インク、墨・紙	18.0×25.5	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
61	「新人国記」挿絵 妙義山	1960年代	インク、墨・紙	24.8×25.5	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
62	「新人国記」挿絵 いかほ	1960年代	インク、墨・紙	19.5×20.8	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
63	「新人国記」挿絵 山村の小学校	1960年代	インク、墨・紙	19.5×27.3	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館寄託
64	片倉遠景	1955	油彩・キャンバス	30.0×22.0	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
65	群馬県民会館第一緞帳下絵	1971	アクリル・キャンバス	100.0×200.0	群馬県立近代美術館



旅からひとく
洋画界の巨人
福沢一郎の
知られざる足跡

2025.

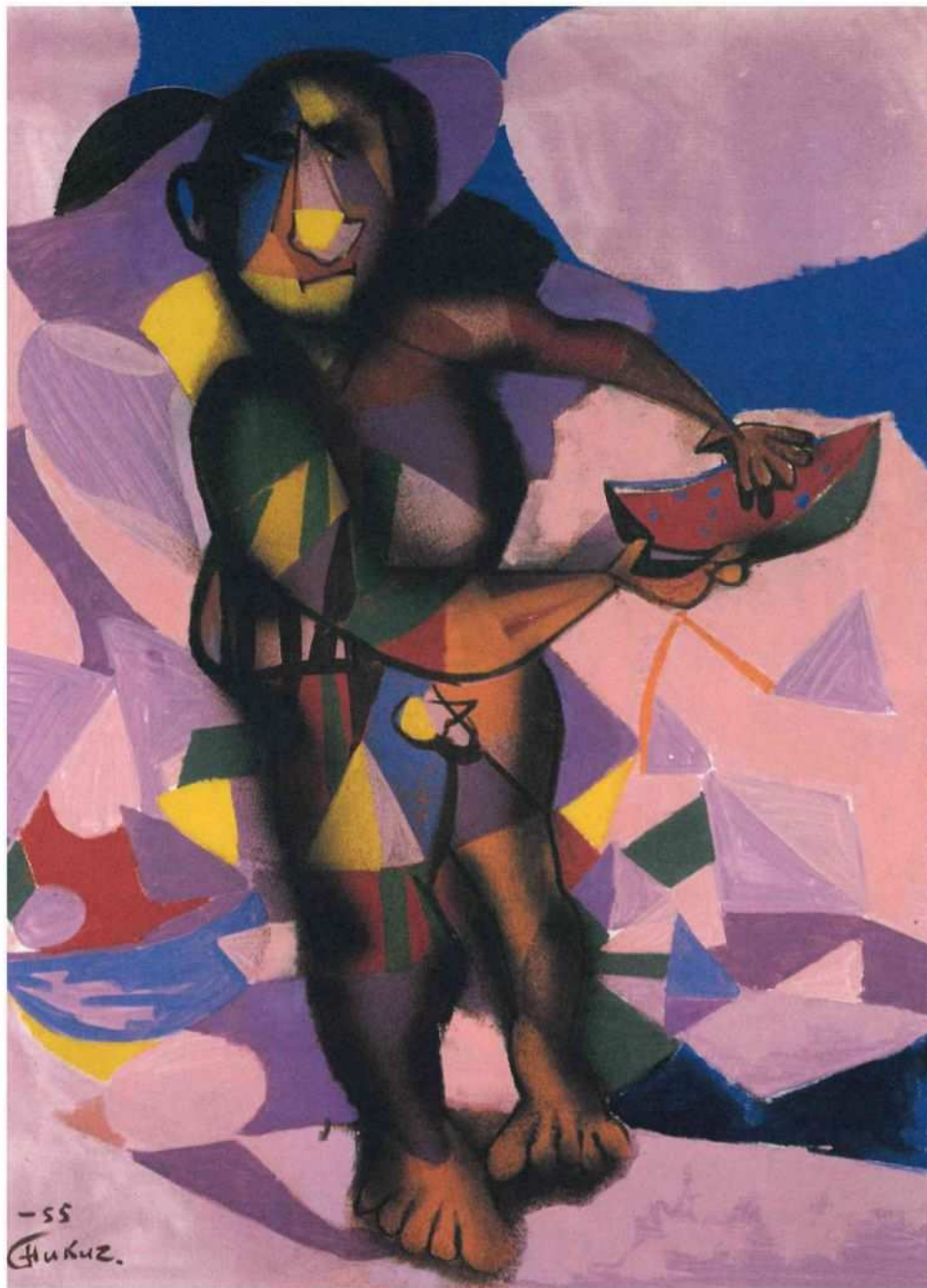
10 / 18
SAT

12 / 21
SUN

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)[会期中の休館日: 10/20(月)・27(月)、11/4(火)・10(月)・17(月)・25(火)、12/1(月)・8(月)・15(月)]

高崎市美術館 
TAKASAKI MUSEUM OF ART
〒370-0849 群馬県高崎市八島町110-27 Tel: 027-324-6125

福沢一郎の旅行カバン 画家とゆく世界の旅



上段:《陽なたの観衆》1978年 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館寄託夢遊人M.コレクション
下段:左上から《水瓜を持つ男》1955年 群馬県立近代美術館蔵、ニューヨーク滞在時の写真 1965年 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館蔵、《鮫》1950年 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館蔵、《スケッチ 住居附》1943年

高崎市タワー美術館
展覧会のお知らせ

「収蔵作品展 日本画オノマトペ」9月27日(土)~12月21日(日)
お問い合わせ: tel.027-330-3773

工部・岡崎市美術館

監修: 福沢一郎記念館

企画協力: 群馬県立近代美術館、富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館

開館時間: 午前10時~午後6時 金曜日のみ午前10時~午後8時(入館は閉館の30分前まで)

[旧井上房一郎邸 邸内公開]

午前10時~11時、午後2時~4時

[庭園] 10月~11月、午前10時~午後6時 / 12月、午前10時~午後5時(入園は閉園30分前まで)

観覧料: 一般600(500)円 大高生300(250)円

※()内は20名以上の団体割引料金。インターネット割引券をご提示で2名様まで()内の料金でご覧いただけます。
※前回展「光のラビリンス」半券(割引記載のあるもの)をお持ちいただいた方は()内の料金でご覧いただけます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方1名は無料でご覧いただけます。受付で手帳または障害者手帳アプリ[ミライロID]をご提示ください。※65歳以上の方は無料でご覧いただけます。年齢の証明ができるもの(マイナンバーカード、運転免許証、保険証等)を受付でご提示ください。
※大学・高校生は大高生料金でご覧いただけます。学生証を受付でご提示ください。※中学生以下の方は無料でご覧いただけます。

※10月28日(火)は群馬県民の日につき入館料は無料です。

次回展割引 本展覧会の半券(割引記載のあるもの)をお持ちいただくと、次回展(15つの部屋2026)1/10~3/15)を団体割引料金でご覧いただけます。



交通案内: JR高崎駅西口より徒歩3分

駐車場: 駅前駐車場、西口サウスパーク、サウスパーク第2、高崎駅東口LABI1高崎駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示等していただく1時間の無料駐車券をお渡しいたします。

福沢一郎の旅行カバン 画家とゆく世界の旅



《群馬県民会館第一展覧会下絵》1971年 群馬県立近代美術館蔵「エピローグ 故郷(ホーム)をえがく 群馬の風景」より

2025.10/18 SAT ~ 12/21 SUN

高崎市美術館
TAKASAKI MUSEUM OF ART
〒370-0849 群馬県高崎市八島町110-27 tel: 027-324-6125

「原始的なものや神秘的なもの、荒々しいものを見て、
何かつかんでいきたい、体当たりしたいと思ってるんです」

(インド旅行を企図してのことは、竹林賢「ぶらり見参」福沢一郎「美術手帖」137号、1958年2月より)

画家福沢一郎(1898-1992)は、旅によって制作のテーマを探求し、表現の幅を広げていきました。この展覧会では、スペイン、ギリシャ、オセアニア、ニューヨーク、中南米、フランス・パリ、そして秩父や故郷群馬など、彼の画業における旅のあしあとをたどります。群馬県立近代美術館、富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館の収蔵・管理作品と、写真やスケッチなどの豊富な資料を中心に、画家が旅先の風景や人々に向けた鋭いまなざしをさぐるとともに、旅のつど変化する豊かな絵画表現の数々をご紹介します。

プロローグ 福沢一郎と旅

この展覧会は、開午場の客席でさまざまな表情をみせる人々を描いた大作《陽なたの観衆》からはじまります。こうした旅先での人間観察を記録し、作品に活かすため、彼はカメラを愛用しました。ここではカメラや旅行カバンなど旅の愛用の品も展示し、展覧会の「旅支度」とします。

1. ギリシャとスペイン 湧き上がる生命

1970年のギリシャ旅行で古代の遺跡や遺物取材した福沢は、神話の世界に思いを馳せ、抜けるような青空のもとで躍動する神々や精霊などを描きました。また、1978年のスペイン旅行では闘牛に興味をもち、鮮やかな色彩と強烈なコントラストで会場の熱気を表現しました。彼はこれらのモチーフと描法で、力強い生命の輝きを描き出そうとしたのです。

2. オセアニアへ 未知の「未開」への旅

1967年、福沢はオーストラリアとニューギニアへ旅行しますが、その成果を大々的に発表することはありませんでした。ただこのとき制作されたドローイングやスケッチ、写真と、それらをもとに描かれた小作品からは、この地で感じた自然の強い印象と、過酷な大地で生きる人々への並々ならぬ興味がうかがえます。



①《陽なたの観衆》1978年 富岡市立美術館蔵・福沢一郎記念美術館寄託 夢遊人M.コレクション ②《陽なたの観衆》1992年 ③《オセアニア》1967年 富岡市立美術館蔵・福沢一郎記念美術館寄託



④



⑤



⑥

5. 中南米 輝く生命

終戦後いち早く活動を開始した福沢は、1952年にパリへ渡る機会を得ると、翌年にはブラジルへ、その翌年にはメキシコへ旅し、各地で取材を重ね、現地の風土や人々の生活を描き留め、写真を撮ります。このときの取材が帰国後に花開き、鮮やかな色彩と力強い輪郭線を伴った連作がうまれます。戦後の大きな転換点となった中南米での取材と制作を、作品と資料で振り返ります。

6. 秩父をあるく 戦時下・地学へのアプローチ

1941年4月に治安維持法違反の疑いで逮捕された福沢は、釈放後終戦まで戦争記録画の制作を余儀なくされますが、同じ頃埼玉県秩父地方や、故郷富岡に近い群馬県南部に隣接する地域に興味を抱き、何度も通ってスケッチを重ねます。地質学者も驚くほどの地学的知見と、戦時下の人々の生活へのあたたかな視線が、繊細で旅情あふれる風景画の数々を生み出しました。

7. 若き日のフランス・パリ 青春のあしあと

彫刻家を目指して1924年にパリへ渡った福沢は、自由の境地を開拓できる絵画へと次第に制作を転換していきます。その過程で、彼はたくさんの写真を撮影し、のびやかなスケッチを多数制作しました。ここでは「シュルレアリスムの紹介者」とよばれることの多い彼が、前衛絵画に踏み入る前の若々しい絵画表現を、写真やスケッチとともにたどります。

8. 福沢一郎の「ディスカバー・ジャパン」— 九州の旅と《卓弥呼》／東北・北海道の旅

福沢は国内の旅もおおいに楽しみました。特に九州と東北・北海道には何度も足を運び、感じ入った風景を描いたり、写真におさめたりしています。旅行先でのエピソードとともに、かの地で撮影・制作された写真と絵画をごらんください。

エピローグ 故郷(ホーム)をえがく 群馬の風景

旧制中学校を卒業して以来、一度も故郷に住むことのなかった福沢ですが、群馬に対する愛着は深いものでした。新聞記事の押絵や旧官営富岡製糸場の遠景、群馬県民会館の縦横原画など、故郷の風景や人々を描いた作品からは、彼のウィットに富んだ感性とともに、故郷に寄せる強い思いを感じ取ることができそうです。

④《プラカードを持つ女》1965年 群馬県立近代美術館蔵 ⑤《網にかかった人》1959年 富岡市立美術館蔵・福沢一郎記念美術館蔵 ⑥《メキシコの女》1956年 高崎市美術館蔵 ⑦《不評(秩父風景)》1944年 個人蔵 ⑧《クイアのある風景》1929年 富岡市立美術館蔵・福沢一郎記念美術館蔵 ⑨《かまくら》1951年 富岡市立美術館蔵・福沢一郎記念美術館蔵 寄託 夢遊人M.コレクション

関連事業

*10/3(金)午前10時より高崎市美術館(TEL.027-324-6125)にて電話受付。*内容の変更、中止となる場合があります。最新情報はホームページ・SNSでご確認ください。

1. 講演会「画家福沢一郎の旅路 その「あ」と「さ」を考える」

福沢一郎研究の第一人者、伊藤佳之氏によるスライドレクチャー。
講師：伊藤佳之(福沢一郎記念館)
日時：11/23(日・祝) 午前10時30分より
場所：高崎市南公民館
定員：50名(予約先着順、参加無料)

2. 講演会講師ギャラリートーク

講師：伊藤佳之
日時：10/18(土)、11/23(日・祝)いずれも午後2時より(要観覧料、要申し込み)
場所：高崎市美術館展示室

3. 対話型アート鑑賞ラボ「金曜はしゃべりミュージアム」

対話型アート鑑賞ラボの皆さんとおしゃべりしながら鑑賞します。
日時：11/21(金)午後6時30分より
場所：高崎市美術館展示室
定員：15名(予約先着順、要観覧料)

謝辞

本展覧会のために貴重な作品や資料を貸与され、また、ご協力いただきました一般財団法人福沢一郎記念美術財団 福沢一郎記念館様、群馬県立近代美術館様、富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館様はじめ、お名前を記すことのできなかった皆様へ深く感謝の意を表します。

福沢一郎の旅行カバン 執筆：伊藤佳之(福沢一郎記念館)/編集・発行：高崎市美術館/制作：(株)原人社